

平成28年 3月1日 第11号

自治連

あさか

朝霞市自治会連合会



平成27年5月22日（金）、ゆめばれすにて「平成27年度朝霞市自治会連合会定期総会」が開催されました。

ごあいさつ



朝霞市自治会連合会会長

松尾 哲

「自治連あさか」の発行にあたり、皆様にご挨拶申し上げます。私は、昨年5月に行われた定期総会におきまして、島前会長の後任として、自治会連合会会長の重責を担うこととなりました。甚だ微力ではございますが、自治会連合会の良き伝統を継承しつつ、ふるさと朝霞の発展のため努力をして参る所存でございます。

さて、昨今、大きな災害が起きるたびに地域コミュニティが持つ「共助の力」、すなわち「近隣がお互いに助け合って地域を守る」との重要性が再認識されております。しかしながら、こうしたコミュニティの力というのは、一朝一夕には成り立つものではなく、何より日頃からの交流が大切で、例えば、町内会の回覧板を通して、あるいは清掃活動を通じて、ご近所の皆さんの様子を見聞きすること、こうした小さなつながりの延長線上に「いざ」という時の「共助の力」が発揮されるのではないのでしょうか。

災害時への備えも大切ですが、やはり自治会・町内会の意義と申しますのは、私たちが日々暮らしていく中で、良好な地域環境を維持するために、地域に住まう私たち自身が自ら考え、自ら行動をすることだと思っております。地域のことは地域で決める、あるいは地域の安全は地域で守るという自治の精神が自治会・町内会の意義であると考えております。

私も会長として、1人でも多くの皆様に、活動を通じ、自治会・町内会への理解を深めていただけますよう、よりよい地域づくりに尽力して参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



朝霞市長

富岡 勝 則

朝霞市自治会連合会の皆様におかれましては、日ごろから市政全般にわたり、多大なるご支援とご協力を賜っております。島前会長のこれまでのご功績に感謝するとともに、松尾新会長の今後のご活躍に心からご期待を申し上げる次第でございます。

さて、自治会連合会は、自治会・町内会の相互の連絡協調と自治活動の円滑な運営に寄与することを目的に設立された団体でございますが、その構成団体である自治会・町内会への加入率は、昭和55年をピークに年々減少を続けております。申し上げるまでもなく、自治会・町内会は、地域における防犯・防災事業をはじめ、地域コミュニティの醸成活動など、行政の手が届きにくい部分を担い、地域の皆様が安心して安全に、そして快適に暮らしていくために必要不可欠な組織でございます。

市といたしましても、こうした地域コミュニティの重要性や有意性をより多くの皆様に認知していただき、地域コミュニティの核である自治会・町内会に参加していただけるよう努めてまいりますので、自治会連合会の皆様におかれましては、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、朝霞市自治会連合会のご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。あいさつとさせていただきます。



市長を囲む意見交換会

質問順	質問提出者	質問内容
1	自治会連合会	個人番号（マイナンバー）について
2	自治会連合会	町内会で管理している防犯灯について
3	自治会連合会	敬老会について
4	緑ヶ丘親交会	朝霞市公共施設所在地番について
5	三原町内会	ルームエアコン室外機からの排風について
6	三原町内会	防犯カメラの設置について
7	浜崎南親和会	人口減少の対策について
8	浜崎東町内会	浜崎橋併設歩道橋の修繕について
9	浜崎東町内会	横断歩道設置について

朝 霞市自治会連合会では、毎年「市長を囲む意見交換会」を開催しています。これは、自治会・町内会長と市長および市執行部とが意見交換をすることで、よりよい地域を目指すことを目的としています。

今年度も10月23日（金）に市民会館において開催し、自治会連合会側から9問の質問（左表参照）を行い、市執行部からご回答をいただきました。

自治会からの質問と市の回答について一部抜粋して紹介します。

A 市では、年に一度、職員が橋梁を点検し、所定のチェックシートに記入をして管理を行っています。この橋の点検は、直近では昨年度の平成27年3月31日に行っており、塗装劣化および腐食があることを確認し、今年度中に部分修繕を行うよう検討しておりますが、対応が遅くなり、ご指摘をいただきまして大変恐縮です。穴が空いた腐食部分につきましては、9月30日に現地をあらためて確認したところ、穴の長さが15cm、幅が7、8cm程度と比較的大きな穴でございましたので、早急な対応が必要と判断し、まずは板とテープで穴を覆う応急的な処置を行いました。今後、本格的修繕といたしまして、11月末までに穴周辺の錆を十分に削り落とし、樹脂系の材料で穴をふさいだ後、その上から塗装を行う予定でございますので、もう少々お待ちいただければと思います。

都市のインフラは、高度成長期に整備されたものが多く、また、日々老朽化が進行しています。都市建設部として老朽化対策を最優先課題として取り組んでおりますが、施設は日々劣化するものでございまして、職員だけではなかなか行き届かない部分もございまして、地域の皆様のお気づきのことがございましたら、遠慮なく都市建設部の方に情報をいただければ対応を検討させていただきますので、勝手なお願ひですが、自治会連合会の皆様方にも何卒ご協力をいただければありがたく存じます。

Q 浜崎橋併設歩道橋の修繕について

JR武蔵野線にある朝霞第三小学校通学路の浜崎橋歩道橋の一部が老朽化し、錆が発生しており、一部穴が空いていて危険です。子どもの足が入ってしまうものがあります。早急に修繕を希望します。



浜崎東町内会 須田会長

自治会長研修会

研修
テーマ

防災

朝霞市自治会連合会では、自治会長研修会として、毎年テーマを決めて先進地視察などを行っています。

今年度は「防災」をテーマに、10月29日(木)、30日(金)の日程で福島県須賀川市を訪問しました。

福島県須賀川市 (視察研修)

福島県須賀川市は、同県のほぼ中央に位置し、東西に長く伸び、市街地は南北に馬の背のように伸びた丘陵地に広がっています。西に奥羽山脈、東に阿武隈山地の山並みを望み、市内中心部を阿武隈川と釈迦堂川がゆったりと流れる、自然環境に恵まれたまちで、朝霞市とは、昨年8月に※「災害時における相互応援に関する協定」を締結しています。

今回の視察研修では、同市における東日本大震災の被害状況とその対応について、市職員から説明を受けました。報道では知ることができなかった被害状況や、震災時における自治会の役割について知ることができ、大変貴重な経験となりました。

※災害時における相互応援に関する協定

大規模な災害が起こった時に、自治体間で食料や生活必需品などの提供、職員の派遣などの支援を行う協定のことです。朝霞市は福島県須賀川市のほかに、岐阜県瑞浪市、長野県佐久市、山形県東根市と締結しています。
この協定の実効性を高めるためには、日頃から、顔の見える交流を続けていくことが必要です。

災害時の自治会の役割をあらためて認識しました。

視察研修の質疑応答 (一部抜粋)

Q 避難や復興の中で有用な組織というのは「自治会・町内会」だと思いが、実際に機能したか。また、日頃から何をしておけば、自治会・町内会が機能することができるのか。

A 震災時には、避難所になった地域の集会施設を24時間体制で管理するなど、市庁舎が使用不能となった中で、町内会の役割がとて大さかった。

また、今後の課題としては、地域内のコミュニケーションをより醸成するとともに、他の町内会との連携も必要であるほか、水や燃料の備蓄が重要であることが挙げられる。

Q 震災前後で自主防災組織の加入率に変化はあるか。

A 震災前は31団体だったが、震災後、平成27年10月21日現在で23団体増え、54の町内会で組織されている。



▲視察研修の様子
(右側が橋本須賀川市長ほか同市職員の皆様)

藤沼ダムの決壊

藤沼ダムは、須賀川市西部の山間部に位置し、昭和24年に竣工した灌漑用のダムで、堤高約18・5m、貯水容量約150万tであり、被災時はほぼ満水状態でした。地震後ダム堤体が決壊し、貯水されていた水が泥流となり本川を駆け下り、死者8人のほか、流出全壊家屋22戸、床上・床下浸水62戸という大災害となりました。地震によるダムの決壊は世界でもほとんど例がありません。



▲藤沼ダム復旧工事の様子を見学



各地区の自治会活動報告

第1区 膝折宿町内会

会長 関根 進

「住んで良かった街」づくり

膝折宿町内会の「宿」という言葉は、江戸城と川越の初雁城を結ぶ川越街道の宿場であったために付けられました。今から60年くらい前には、この宿場にはたくさんの店が軒を連ねていました。米屋、魚屋、つき屋、八百屋、酒屋、肉屋、乾物屋、鳥屋、塩の販売店、煙草屋、菓子屋、食堂、呉服屋、時計屋、瀬戸物屋、下駄屋、クリーニング屋、かご屋、桶屋、鍛冶屋、自転車屋、自動車屋、板金屋、材木屋、水道屋、旅館、パチンコ屋等々です。日常生活の営みは全て賄うことができました。そして、この地域では、黒目川の水を利用して水車を回し、伸銅業が栄えました。いくつもの伸銅所が戦後の復興期にもまちの経済活動を支え、活況を呈していました。戦前には町内に銀行があったと聞いております。



膝折宿町内会
市民体育祭で一致団結！

現在では、社会の変化により町並みはすっかり変わり、住宅やマンションが次々に建てられており、町内の人口は少しずつですが増え続けています。

膝折宿町内会の自治会活動は、膝折センター町内会館を拠点に行っています。防災・防犯活動、そして青少年育成活動を中心に「住んで良かった街」と思える街づくりを目指しています。

第2区

下の原南部町内会

顧問 高橋 優

地域に合った活動を目指して

当町内会は、昭和39年1月に会員数約80世帯で誕生し、県道保谷志木線に沿って南北約2kmに3つの小学校区を持った、現在400世帯の一般会員さんと30社の法人事業所会員の方々とで活動している町内会です。



春の到来「観梅祭り」

第3区

朝霞台ダイカンプラザ自治会

会長 北村 剛常

地域社会とのかかわりを大切に

当自治会は溝沼連合町内会に属し、溝沼下町内会に隣接する68世帯が居住するマンションの自治会です。平成4年にマンションが建設され入居者が増え出し自治会が発足しました。

さる11月29日、自治会の自主防災訓練として朝霞消防署浜崎分署の消防隊員の方たちにお越し頂き消防訓練を実施しました。自治会避難誘導班による居住者の避難訓練に始まり、火災発生時の連絡通報、水消火器による初期消火

マンションの自治会という小さなコミュニティの特質上、どうしても地域社会とのかかわりが希薄になりがちですが、当自治会では彩夏祭・納涼盆踊り大会等の手伝い、黒目川清掃、自主防災組織事業への参加、社会福祉協議会募金活動等、地域社会とかわる活動に積極的に参加し、微力ながら社会貢献活動の一助になればよいと考えております。



消防訓練

訓練、心肺蘇生法、AED使用方法について、消防隊員の方の説明・デモンストレーションを受けたのち、参加者がすべての訓練を実地体験しました。日頃、自治会内で多数の方が集まる機会が少ないので、交流を深めるため、消防訓練の後、マンション集会所にて懇親会を開催しました。

第4区

桜ヶ丘町内会

会長 田沼 貢

**身近な人と交流を
災害は起きてから慌てるな**

桜ヶ丘町内会は県道より坂下にあり、車の往來の時の騒音も聞こえることが少なく、また、町内会の中央は私道で坂が急なため、車は入れず静かなところです。子供たちが道路で遊ぶときは車が通らないため、おもちゃの車で坂を下ったりして遊んでいます。

そんな静かな町内ですが、町内の清掃など人の集まる機会があると皆で一致団結して速やかに清掃しています。

また、平成10年から秋祭りを実施していますが、模擬店を班ごとに分け、焼きそば、子どものおもちゃ等を出し、大人はビールなどを楽しみ、道路いっぱいに最大限利用して町内の人たちは和気あいあいと交流を図り、最後に福引会を行い、1等から5等まで空くじなしで行います。近隣の町内の人もなぜか集まり楽しいひとときを過ごす、そんな町内会です。

町内も年を取った人が増えてきましたが、朝霞全体も高齢者が増えてきたこともあって、桜ヶ丘町内会も秋祭りが毎年開催できません。近隣の若い人が一緒に参加できる、そんな秋祭りになりたいと考えておりますが、一口にお

祭りと言っても開催するまでの準備が大変です。若い人は仕事が忙しく、なかなか準備に参加しにくい状況です。地震等の災害時、起きて慌てるよりも、近隣の人との交流を深め、助け合える場を作りましょう。



秋祭り「初秋のタベ」

第5区

栄町町内会

会長 小池 正訓

**町内会行事で
地域の絆づくりを**

栄町町内会は、朝霞市の東南に位置し、北は本町、東は和光市、南は陸上自衛隊朝霞駐屯地、西は幸町2丁目となる場所に位置し、平成27年4月1日現在の世帯数は2310世帯で市内



夏祭り 朝霞四中ブラスバンド演奏

でも有数の大町内会です。年間を通じての事業は、毎年1月1日の深夜午前0時から、新春もちつき大会を開催し、つきたてのお餅を約600名の方々に食べていただき、1月中頃には賀詞交換会としての新年会、4月にはお花見会と称して大型観光バスにて日帰り旅行、5月は1年の総括として総会が開催されます。8月は町内会恒例の夏祭り事業で、最近3、4年前から、陸上自衛隊中央音楽隊OBのチームによるオーケストラの演奏をはじめ、朝霞四中生や朝霞高校生のブラスバンドの演奏、市内団体の組み



夏祭り 吹奏楽に聞き入る町内会の皆さん

太鼓や大正琴の演奏、さらには近隣の子どもたちの踊りのチームや、ママさんチームによるフラダンスの披露と、多彩な内容になっています。観客数も平均1000人のご参加を得て盛大に催されています。秋には市民体育大会に親子ともども参加し、親子のコミュニケーションを促しながらの事業などを実施しています。その他にも月3回の防犯パトロールも実施しております。



第6区

岡町内会

子ども育成部部长 高橋 岳生

「朝霞に住んでよかったね!」
と思えるように

都市開発が進み、岡町内会区域にも新しい住宅が次々に建設されていますが、核家族化が進み、地域の間関係も希薄になってきています。そんな中、岡町内会では体育部・文化部など各々が個性ある活動を展開しています。ここでは子ども育成部の活動をご紹介します。

育成部では、子どもたちが安心して遊べ、「朝霞に住んでよかったね」と思えるように、子どもばかりでなく高齢者も参加できる地域住民の交流活動を目指しています。そのために、伝統行事や新しい行事を企画・運営しています。

恒例となった「流しそうめん大会」(下写真)は、参加者も200人を超え、夏休み中の一大イベントに成長しました。孟宗竹を割って水路を作り、竹の香りと共にそうめんだけでなく、彩りにブドウ、ミニトマト、サクランボを流します。

この大会の目的は親・子・孫三代交流の場を提供するだけでなく、参加者にエコ活動をより一層考えてもらうため、箸・お椀は持参としています。

子どもたちは楽しそうに眼を輝かせ、見守る親、祖父母の方々の箸も進みます。

地域の大人の方が子どもたちの顔を知ること、子どもたちが地域の大人の顔を知るとは、地域の防犯上にも大きな意味を持ちます。

開発地域であるが故に、古くからの地元住民と新しい住民の方との交流を活性化していくことが町内会活動の重要な役割の一つと考え、今後も企画・運営していこうと思います。



大盛況「流しそうめん大会」

第7区

宮戸立出町内会

会長 山田 寅一

備えの防災倉庫

当町内会は朝霞市北西部で志木市と接しており、志木駅の東方1kmくらい、徒歩で約15分の位置にあります。昭和30年頃は一面農地でしたが、以後開発され、現在は約230世帯で、今でも若い世帯の新規加入が続いております。朝霞第三小学校までは約2kmあり、低学年生には通学が大変ですが、自然に鍛えられ足腰の強化になり、丈夫な体作りができます。

町内会運営は、役員11人、六ブロック、33班にて、配布・集金・募金等に協力をお願いしております。

町内会の物置が古くなり、平成25年に立出児童公園内に新しく防災倉庫として設置され、市から防災器具等も貸与されました。ここを町内会の活動拠点として、毎月第2金曜日は夜8時から、第4金曜日は午後2時から防災パトロールを実施。街灯の確認や消火器等を管理し、パトロール後は町内会に関する報告や情報交換等、役員間の話し合いの時間に充てています。

今後とも市の行事等にはできる限り参加し、地域の発展に協力してまいります。

第 8 区

青少年の育成のために

霞ヶ丘東親和会
子ども会 後藤由紀子

私たち、霞ヶ丘東親和会子ども会は、40年以上も活動を行っている子ども会です。町内会から援助を頂き、春夏秋冬と1年間を通して行事を行っています。その中でも一番の行事は秋のハロウィンパーティです。

10月末の土曜日の夕方、子どもたちが思い思いの格好に仮装して、霞ヶ丘会館に集まります。グループごとに町内会でご協力をいただいたお宅を回り、お菓子を頂いたりゲームをしたりと、約1時間かけて町内をパレードします。



その後、会館に戻り軽食をとり、子どもたちが一番楽しみにしている大ゲーム大会が始まります。くじ引きで決められたチームに分かれ、1年生から6年生の子どもたちが景品を目指して頑張ります。普段は遊ばない子どもたちも、手をつなぎ輪になり歓声を上げながらチームで協力します。笑いあり悔し涙ありと盛りだくさんの行事です。ハロウインの時期に、仮装した子どもたちのパレードを見かけたら、ぜひ手を振ってください。

これからも町内会の皆様の暖かいご支援を頂きながら活動を行っていききたいと思えます。



秋のハロウィンパーティ

みんなで自治会・町内会へ！

自治会・町内会は私たちの生活に最も身近な組織です。今回、8つの自治会・町内会から活動報告をいただきましたが、各自治会・町内会では、夏祭りやもちつき大会のような親睦事業から、地域の安心安全のための防犯パトロール活動防犯灯の維持管理、防災訓練まで幅広くさまざまな活動を地域のつながりを強めるために実施しています。

また、自治会・町内会相互のつながりを大切にするために、自治連では、自治会長研修会等の自主事業を実施したり、黒目川堤防清掃や彩夏祭などに参加したりしています。

近年では、「活動への参加が面倒くさい」といった理由で加入しない人も増え、朝霞市の加入率も年々低下していますが、災害等の緊急時に最も大きな力となるのは、地域のつながりが生む「共助の力」です。ふだんから近隣の方々と交流がなかなかできなくても、自治会・町内会に加入し、できる時にできる範囲の協力をすることにつながりを持つことができます。まだ加入されていない方は、ぜひご加入ください。また、すでに加入されている方は、お近くでまだ加入されていない方がいましたら、ぜひお誘いください。

みんなで住みよい地域を作っていきましょう！



▲彩夏祭・公園通り北会場では給水を担当しています！

※自治会・町内会加入等については、各自治会・町内会長まで、連絡先が不明の場合は地域づくり支援課(Tel 463・2645)までお問い合わせください。

自治連 あさか

平成27年度 自治会連合会役員名簿		
職名	氏名	所属団体名
会長	松尾 哲	本町霞台町内会
副会長	梶原 孝男	下の原町内会
副会長	星野 隆	溝沼第一町内会
副会長	田沼 貢	桜ヶ丘町内会
会計	松井 宏之	東かすみ台町内会
会計	五十君 欣司	境久保町内会
理事	塩野 靖春	膝折町内会
理事	大野 義定	県営朝霞幸町団地自治会
理事	室谷 外喜男	三原町内会
理事	獅子倉 康治	溝沼下町内会
理事	小池 正訓	栄町町内会
理事	室井 徳治	昭和台町内会
理事	比留間 明	岡町内会
理事	高橋 浪治	上内間木町内会
理事	醍醐 清	田島町内会
理事	南條 喜明	朝志ヶ丘自治会
監事	新保 知司	上の原町内会
監事	石塚 駿太	浜崎南親和会

● 広報委員会名簿

委員長	溝沼第一町内会	星野 隆
自治会連合会	本町霞台町内会	松尾 哲
自治会連合会	下の原町内会	梶原 孝男
自治会連合会	桜ヶ丘町内会	田沼 貢
1区	緑ヶ丘親交会	佐久 逸雄
2区	三原町内会	室谷外喜男
3区	溝沼第二町内会	浅川 俊夫
4区	コンフォール東朝霞自治会	海野 進
5区	栄町町内会	小池 正訓
6区	城山町内会	大岡 昇久
7区	宮戸町内会	大島 久
8区	浜崎親交会	塚田 好子

ありがとう ございました



退職自治会・町内会長

昨年度をもって退職された自治会・町内会長の皆様をご紹介します。
在職2年以上の方には、定期総会において感謝状と記念品が授与されました。

〈敬称略〉

在職21年 1か月	在職8年	在職6年 10か月
谷内 周平	塩味 好郎	江口 幸子
栄町町内会	溝沼第三町内会	朝霞台ダイカンプラザ自治会

在職6年	在職4年	在職2年	在職2年	在職2年	在職1年	在職1年
鈴木 實	鈴木 秀顕	芳野 吉嗣	渡辺 浩通	依田 一男	須田 均	井口 友子
浜崎親交会	東南部町内会	広沢町内会	三栄自治会	下内間木町内会	浜崎東町内会	富士見台自治会
						ローリエ朝霞台自治会

編集後記

平成27年は日本各地で自然災害の多い年でした。28年は元旦から温暖な日が続き、喜ばしい年明けとなりました。
世界に目を向けますと、昨年は地球温暖化対策としてフランスで開かれたCOP21において、温暖化に対する危機意識が共有され、各国の削減案が合意に至ったことは大変意義深いことでした。
温暖化をはじめとする環境問題の解決には、人と人とのつながりを築くことと同様に、1日1日の積み重ねが大切です。朝霞市にあっては町内会が率先・協力して身近な危機や環境について考えていかなければと感じた次第です。

2区 下の原町内会
会長 梶原 孝男

